文書№取説-12032120

Simco-Ion
2257 North Penn Road
Hatfield, PA 19440
(215) 822-6401
(800) 203-3419
www.simco-ion.com
customerservice@simco-ion.com

PerforMAX® IQ HL Power Supply

取扱説明書

ご使用の前に

禁止

本製品は、防爆構造ではありません。溶剤・可燃性ガス等が存在する「危険場所」ではご使用になれません。また、酸・アルカリ・塩素ガス等の腐食性ガスのある場所に持ち込まないで下さい。また、そのような場所では、使用しないで下さい。

ご注意

・本製品は、高電圧を使用した「静電気除去装置用直流高電圧電源」です。本製品を正しくお使い頂くために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読み下さい。

・本製品は、電気製品です。また本製品は防塵構造ではありません。水・油・溶剤・微粉末等が装置にかかりますと、本製品を著しく損傷させます。特に、高電圧を使用していますので、「結露」にご注意下さい。

・本製品を酸・アルカリ・塩素ガス等の腐食性ガスのある場所に持ち込まないで下さい。また、そのような場所では使用しないで下さい。

・本製品は、この「取扱説明書」に記載された方法で設置・ご使用下さい。
各項目記載の注意事項（※マーク等）に十分ご留意の上、正しく設置・ご使用下さい。

・本製品の「入力電圧」をご確認のうえ、正しく接続して下さい。
また、「主な仕様」の項の使用条件の範囲を越えてご使用にならないようにして下さい。

・本製品に組み合わせてご使用頂く、「静電気除電装値」には制限があります。必要に応じて、本取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用下さい。

・本製品には、アースが必要です。**アースを接続せずに本製品を使用しないで下さい。**アースが確実に接続されていないと性能が十分発揮できません。また、ケース本体から、軽い電撃を受ける場合があります。

・本製品を使用しないときには、必ず電源スイッチをＯＦＦにして下さい。

・落下その他で、本製品に著しい衝撃・損傷を与えたときは、必ず点検を行って下さい。的確に動作しないとき、あるいは点検時等に異常を発見した場合には必ず、必要な修理または交換を行って下さい。

・**本製品が異常に損傷あるいは老朽化しますと、電気ノイズの発生・高電圧出力部等の焼損等を起こす可能性があります。**この「取扱説明書」をよくお読み頂き、定期的に、的確に、保守・点検を行って下さい。

・本製品には、改造・加工および不当な分解を行わないようにして下さい。

・本製品について、ご不明な点やご質問がございましたら、お買い上げ頂いた販売店もしくは、弊社・「シムコジャパン株式会社」までご連絡下さい。

目　次

ご使用の前に ---------- 2
目　　次 ---------- 3
1. 製品概要 ---------- 4
2. 安全性 ---------- 5
3. 製品の特長 ---------- 5
4. 主な仕様 ---------- 6
5. 設　　置 ---------- 9
6. 操　　作 ---------- １５
7. メンテナンス ---------- １８
8. トラブルシュティング ---------- １９
9. リプレースメント パーツ ---------- １９

1.製品概要

PerforMAX IQ HL Power Supply:
PerforMAX IQ HL スタティックバーの関連機器
非危険場所(分類されていない場所)での使用に限ります。

Simco-Ion のPerforMAX IQ HL パワーサプライは、スタティックバーにマイクロプロセッサー制御の直流高電圧出力を供給します。スタティックバーの放電電極は、プラスとマイナスのイオンを発生します。帯電している材料は静電界を発生し、帯電極性と反対極性のイオンを吸着することで中和します。過剰なイオンは、再結合するか、グランドに吸収されます。

PerforMAX IQ HL スタティックバーは、アプリケーションに合わせてカスタマイズされます。スピードバーは50～230mmの距離(2-9インチ)で高速ウェブで動作するように最適化されています。ハイブリッドバーは150～460mm(6-18インチ)のウェブ上での距離で動作します。

PerforMAX IQ HL スタティックバーは、簡単にインストールするためのプラグイン高電圧コネクタを備えています。コネクタピンが、PerforMAX IQ HLにどのタイプのスタティックバーが接続されているか識別され、接続されているスタティックバーに最適化された直流高電圧出力を供給いたします。

2.安全性

Simco-Ionは、設置や操作を行う前に取扱説明書の注意事項をよくお読みになることをお勧めします。これを怠ると、人身傷害および/または装置の損傷につながる可能性があります。

NOTE - NOTEで表記される文は､潜在的な機器の故障を避けるために必要な事項を示します。

CAUTION - CAUTIONで表記される文は、潜在的な安全上の問題を示しています。

NOTE - この機器は、正しく設置され、適切に維持されなければなりません。安全な設置と操作のために以下の注意事項に従ってください。

1. 装置を設置または操作する前に取扱説明書を必ずお読みください。
2. 資格のあるサービス担当者が設置および修理を行ってください。
3. すべての機器を接地してください。機器がマウントされている装置のフレームも含みます。
4. スタティックバーの接続/取り外しを行う場合は、パワーサプライの入力電源を必ず切断してください。
5. 可燃性の液体近くでは電源を操作しないでください。

CAUTION - この製品は、AC/DCアダプタから電源供給かまたは電源ユニットが "クラス2" または "LPS" とマークされている DC 24V出力でDC 3.75A以上のものを接続してください。

CAUTION - 感電の危険
接続または取り外し、またはシステムへのメンテナンスを実行する前に、パワーサプライの入力電源を切断してください。また、電源が通電されているときにスタティックバーに触れないようにしてください。

CAUTION - **火災の危険**
設置または電源操作を行う場合には、可燃性の液体や溶剤の近くでは行わないでください。

警告 - コンポーネントの置換は、組み込みの安全性を損なう可能性があります。(図5.1(Figure 5.1)を参照してください)

3.製品の特長

・プッシュボタン(シングルモーメンタリ)のキャリブレーションでセットアップが簡略化されます。

・バーグラフ表示は、システムのイオナイザーのパフォーマンスを示しています。

・表示ディスプレイは､イオナイザーの中和システム､電源､サービスの要求､システムエラーを表示。

・リレー接点出力は、リモートセンシング、アラームのインジケータを反映。

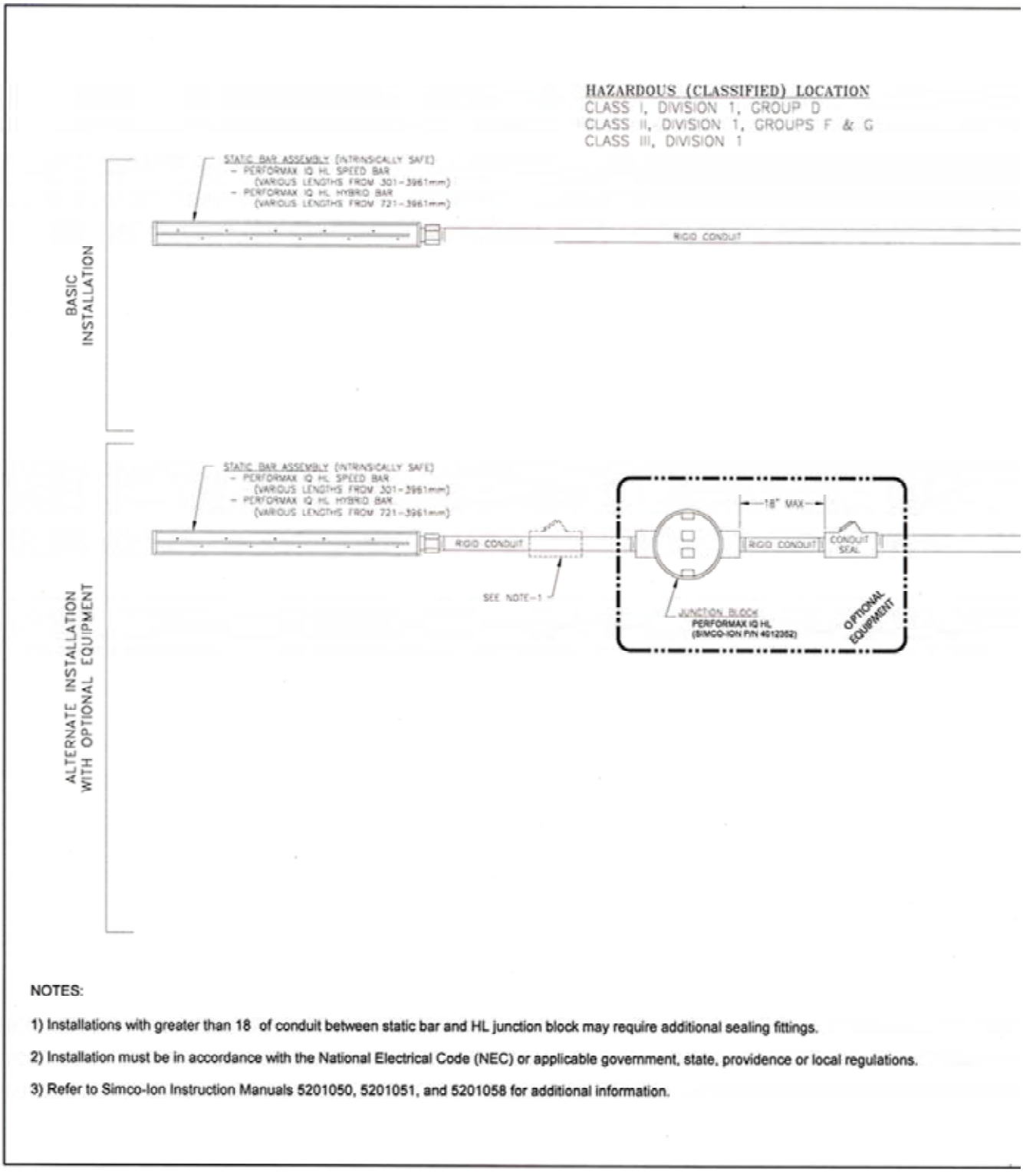
4.主な仕様

・PerforMAX IQ HL Power Supply

入力電圧	:	24V DC, 1.5A from AC adapter
出力電圧	:	+/-7kV “Speed Bar” +/-8kV “Hybrid Bar”
外形寸法	:	202mmL x 123mmW x 106mmH [7.95”L x 4.85”W x 4.17”H]
重　　量	:	1.94 kg [4.28 lb]
最大動作温度	:	43°C [110°F]
ハウジング	:	Aluminum, black epoxy powder coated
高電圧コネクタ	:	2 proprietary PerforMAX IQ HL plug-in outlets

・AC/DC Adapter

タイプ	:	“Universal” desktop
入力電源	:	100-240V AC 50/60Hz input (IEC 60320 C6 inlet)
出力	:	24V DC, 3.75A maximum
外形寸法	:	132mmL x 60mmW x 34mmH 5.19”L x 2.36”W x 1.34”H]
重　　量	:	0.45 kg [1.0 lb]
ハウジング	:	Thermoplastic, black



NOTES:

1) Installations with greater than 18 of conduit between static bar and HL junction block may require additional sealing fittings.

2) Installation must be in accordance with the National Electrical Code (NEC) or applicable government, state, providence or local regulations.

3) Refer to Simco-Ion Instruction Manuals 5201050, 5201051, and 5201058 for additional information.

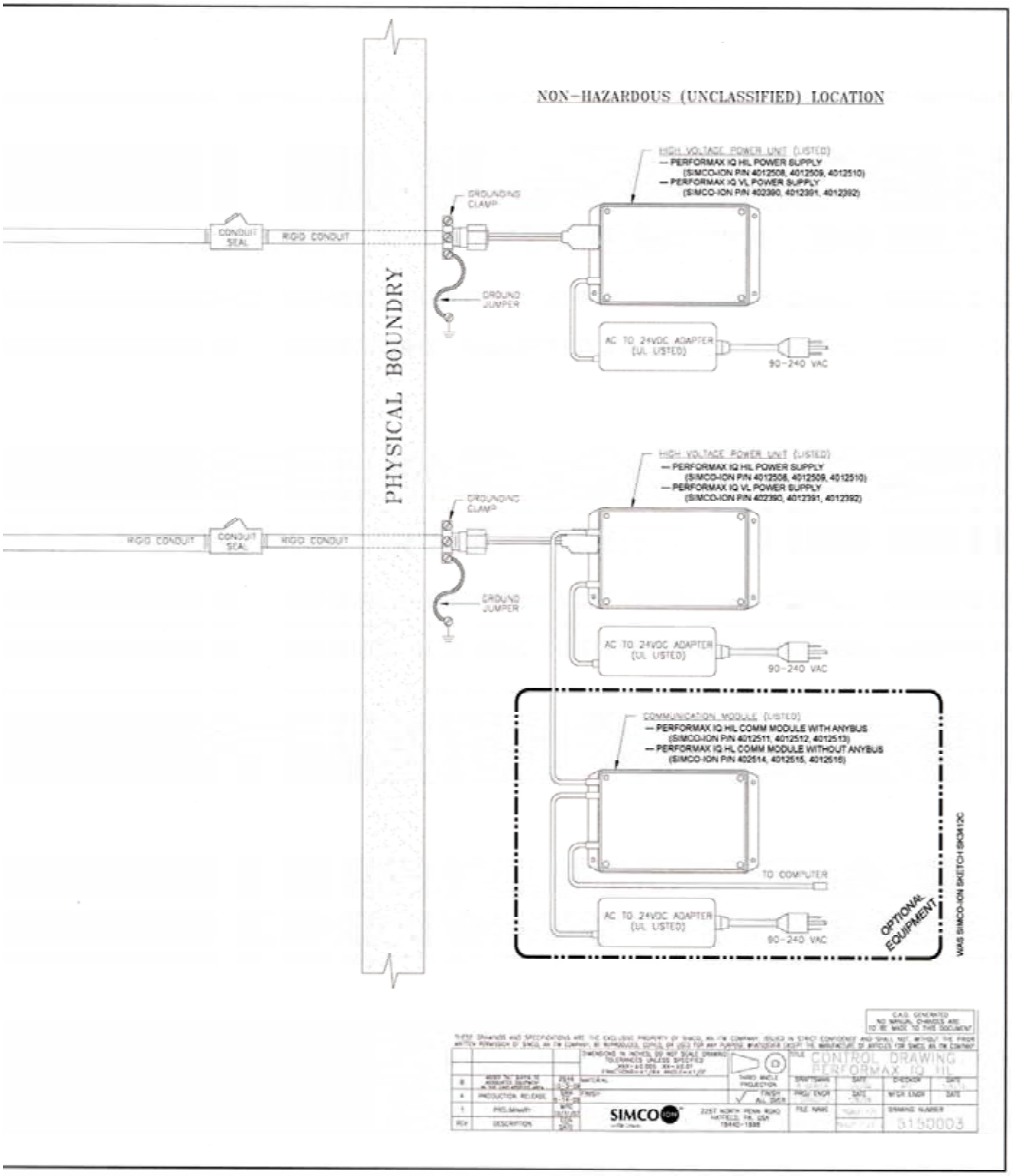


Figure 5.1 PerforMAX IQ HL Control Drawing

5.設　置

5.1 パワーサプライの取付

A. スタティックバーの高電圧ケーブルの届く範囲で固定します。AC/DCアダプタと電気的なグランド接続用のコンセントを使用できる場所を選択してください。

B. M5またはM4のネジを使用して、取り付け面（一般的に機械のフレーム）に固定する。ただし、固定用のネジは付属しておりません。

NOTE - 設置が完了するまで、AC/DCアダプタに入力電源を接続しないでください。また、すべての入力電源スイッチがOFF（0）の位置にあることを確認してください。

CAUTION - 防爆指定エリア内の電源から接続しないでください。非危険場所(分類されていない)(図5.1(Figure 5.1)を参照)から電源を接続してください。

5.2 電気的接続

A. 電源のアースターミナルに良好な接地が確認されている機械フレームをアース線で接続します。

B. 高電圧コネクタの組立
スタティックバーの高電圧ケーブルを所定の長さに切断し、パワーサプライと接続します。
（図5.3(Figure 5.3)を参照）

1. 高電圧ケーブルは、コネクタ用に約85mmの長さで余分に切断します。

2. 黒いケーブルジャケットを64mmに剥きます。このときに、インナーケーブルの外皮を傷つけないようにご注意してください。

3. インナーケーブルを20mmで剥きます。芯線を傷つけないようにご注意ください。

4. 芯線をまっすぐに伸ばし、高電圧コネクタに挿入し先端から芯線が出ることを確認します。

5. 芯線を半田付けします。半田がはみ出さないようにご注意ください。

6. コネクタ先端から出ている芯線を切断します。

7. HVプラグの底にHVコネクタを配置します。黒いプラスチック製のジャケットは完全にHVプラグのストレインリリーフセクションに入れてください。
ナイロンフレックス導管は（ここで使用されます）完全にHVプラグのハブセクションに接続しなければなりません

8. HVプラグのアッパーケースとボトムケースを隙間が無いように組み立てます。

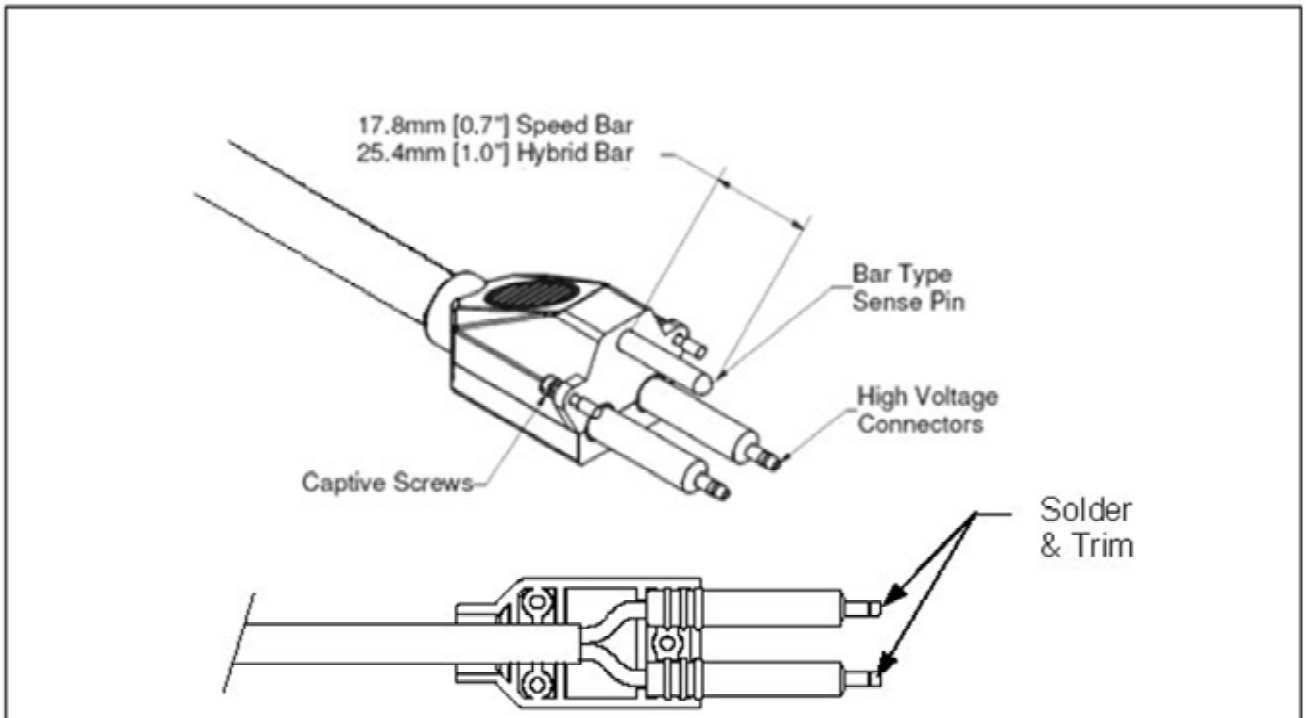


Figure 5.2 High Voltage Cable Terminations

9. ボトムケースの穴にナイロンスクリューを入れてケースを固定します。
(ナイロンスクリューに過大なトルクをかけないでください)

10. 組立て終了後､パワーサプライのHV1またはHV2にスタティックバーの高電圧コネクタを差し込み、両端のネジで固定します。ただし、ネジを締めすぎないようにご注意ください。

CAUTION - 感電の危険性
電源がオンにしているときには、絶対にスタティックバーを接続しないでください。スタティックバーを接続する前に電源プラグを外すか、スイッチをオフにしてください。

NOTE - 高電圧コネクタのパワーサプライとの接続ミスは､スタティックバー､高電圧ケーブル、高電圧コネクタ、パワーサプライが破損する場合があります。

C. パワーサプライの警報出力
パワーサプライの"アラーム出力"は PerforMAX IQ HL電源の端に位置する標準的な DB 25ピンコネクタです。また、ケーブルの長さは、10フィート(3m)以下が推奨されます。

Pin	Description	Pin	Description
1	Remote on/off optocoupler (-)	10	Sensor Relay (common)*
14	Remote on/off optocoupler (+)	6	Sensor Relay (normal closed)*
		19	Sensor Relay (normally open)*
2	Clean Bar Relay (common)*	11	Power Relay (common)*
3	Clean Bar Relay (norm close)*	7	Power Relay (normal closed)*
16	Clean Bar Relay (norm open)*	20	Power Relay (normally open)*
8	Fault Relay (common)*		
4	Fault Relay (normally closed)*	12	Power in (ground)**
17	Fault Relay (normally open)*	24	Power in (ground)**
9	Bar On Relay (common)*	13	Power in (+24V ⎓ DC)**
5	Bar On Relay (normal closed)*	25	Power in (+)**
18	Bar On Relay (normally open)*		

*30V 1A Rating on Contacts
**1.6A Rating, Connect pins 12 & 24 in parallel and 13 & 25 in parallel

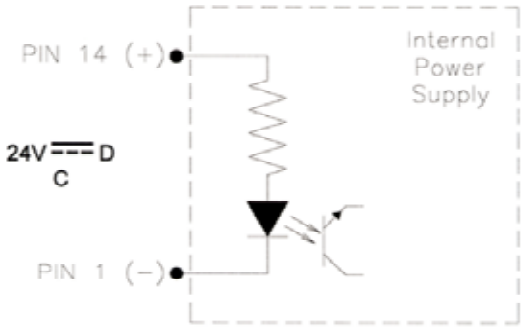


Figure 5.3 Alarm Output Connections

電源アラーム出力は、電源インジケータが点灯の状態を反映して、リレー接点出力を数多く提供しています。リレー接点は、30V DC 1Aの最大定格です。アラーム出力コネクタは、リモートパワーの手段を提供します（図5.3(Figure 5.3)を参照）

D. リモート ON/OFF コントロール (使用する場合).
パワーサプライの“アラームアウトプット”コネクタには、パワーサプライのリモートON/OFF機能が準備されています。リモート ON/OFF は、メインパワーサプライ基板上のピンヘッダーのジャンパーで行います。デフォルトの設定は、「使用しない」に設定されています。リモートコントロールは、“ノーマリーオン”または、“ノーマリーオフ”の設定から選択できます。(図5.4 (Figure 5.4) を参照) ジャンパーにアクセスするためには、パワーサプライのカバーを開ける必要があります。パワーサプライからすべての入力線を外します。その後、固定している６本のネジを取り外し、カバーをゆっくりと慎重に外します。

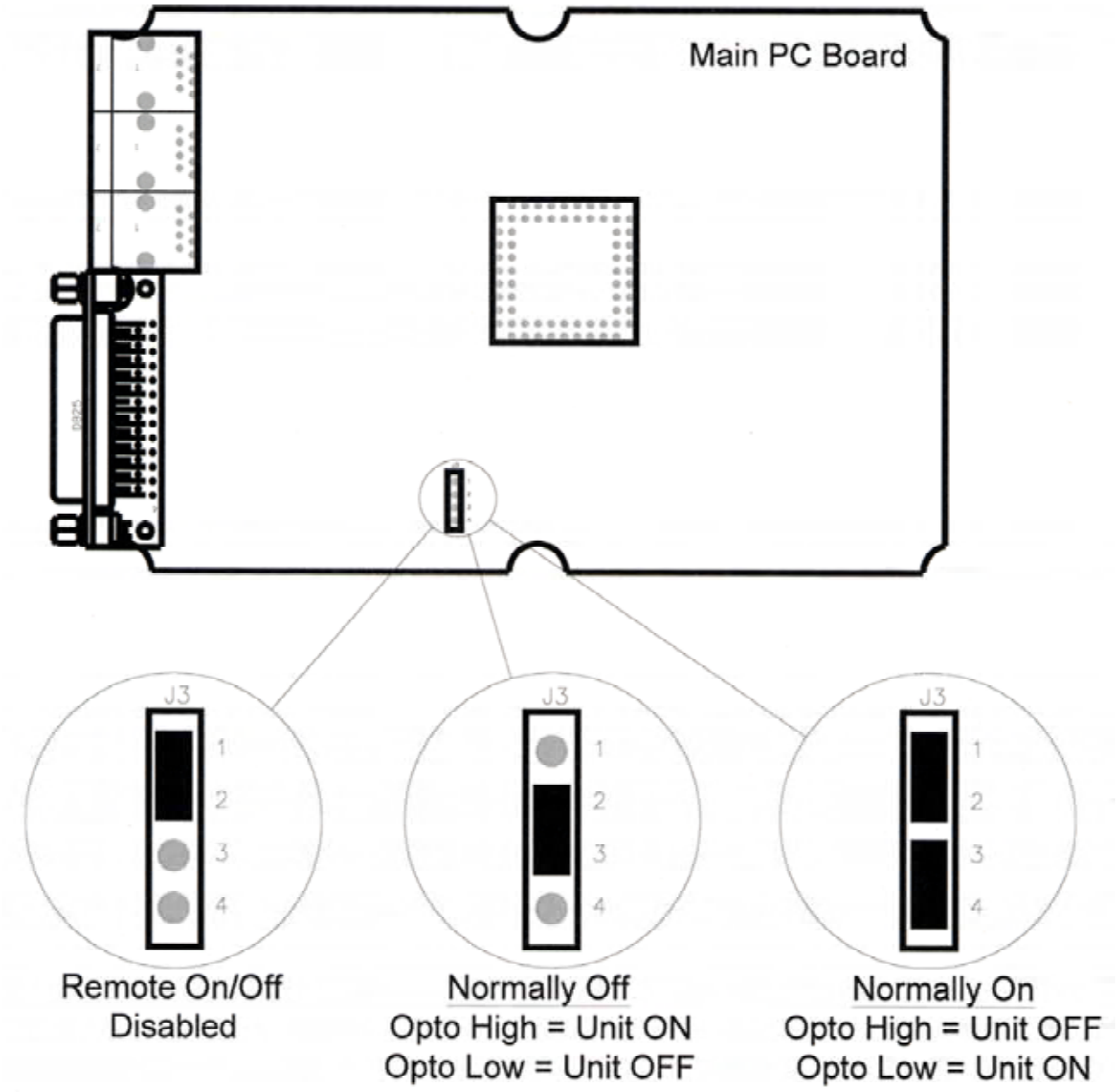


Figure 5.4 Jumper Position at J3 for Remote Control Operation

メイン基板にはカバーレベルのリボンケーブルが接続されています。このケーブルが脱落しないように注意してください。ケーブルが脱落した場合は、リボンケーブルコネクタの両側のラッチを持ち上げてコネクタに完全にリボンケーブルを挿入し、下に戻ってラッチを押します。

リモートコントロールの設定は、必要に応じて、"ノーマリーオン"または "ノーマリーオフ"を有効にするジャンパの位置を変更します。(図5.4(Figure 5.4)を参照)
ジャンパーの設定後、カバーを戻して6本のビスで固定します。

リモートコントロール回路を使用して電源を動作させる場合､電源はエンドパネルの "アラーム出力"コネクタまたは"入力電源プラグ"を介して適用されます。側面パネル上の"入力電源プラグ"が使用されている場合は、電源スイッチは、オンの位置に設定する必要があります。

リモートコントロールは、図5.4(Figure 5.4)で指定された"アラーム出力"コネクタピンに24 V DCを印加することによって動作します。外部からの24V DCは、ジャンパJ3の設定に応じて、オンまたはオフに電源を入れ、PerforMAX IQ HL電源主回路基板上の低電流光アイソレータを駆動します。

E. 他のパワーサプライとの接続
PerforMAX IQ HL パワーサプライは、 "データ･バス"を介して接続することができます。データ･バスは、１台のPerforMAX IQ HL通信モジュールから、複数のPerforMAX IQ HLに電源を提供し、すべてのパワーサプライからネットワークにデータを通信することができます。
合計１２台のパワーサプライは、一つのデータ･バスで一緒に連動させることができます。
データ･バスのための特別なケーブルは、RJ-45コネクタと8芯モジュラーケーブル（：白基準色）でなければなりません。

モジュラーケーブルをどのパワーサプライの「PS COMM 1」コネクタに接続しても、次のパワーサプライの「PS COMM 1」コネクタにも接続できます。

F. AC/DCアダプターを接続します。
（パワーサプライの電源スイッチがオフになっていることを確認してください）
取付けた場所の可動部品からケーブルが保護されていることを確認ください。ナイロンケーブルタイ（付属していません）などでケーブルは締めすぎないよう注意して固定してください。
パワーサプライの“ POWER IN ”にプラグを挿入して、プラグのハンドスクリュウを固定します。

AC/DCアダプタの入力側に電源電圧を接続します。AC/DCアダプタは100から240 V AC50/60Hzの電源電圧のユニバーサル入力タイプです。AC/DCアダプタの電圧コネクタは、IEC 60320 C5コネクタ(付属)にコードを接続します。電源コードもAC/DCアダプタに電気的なアースで接続されています。AC/DCアダプタで使用する電圧のコンセントのアースの状態を確認します。このアースの接続は必ず必要です。

G. ユーザーが（使用している場合）の電源を供給し接続する場合。
ユーザーが、AC/DCアダプタを使用しない場合には、PerforMAX IQ HLパワーサプライへの24V DC電源を供給するには、2つの方法で適用されます。

PerforMAX IQ HL電源の側面パネルのコネクタ"POWER IN"は、ユーザーのシステムに電源に接続される場合があります。このコネクタは、Switchcraft760Kバレルタイプの電源プラグを使用する必要があります。プラグはDC+24Vをセンターボスに接続しアウターバレルをコモン（グランド）に配線しなければなりません。一般的には電気的な接地と接続する必要があります。この方法で配線され、電源の側面パネルの "電源"スイッチは、電源回路に接続されます

また、PerforMAX IQ HL電源の側面パネルの "アラーム出力"コネクタは、システムに電力を供給するために使用することができます。
このコネクタは、標準のDB25コネクタを使用する必要があります。コネクタは、配線する必要があります。

- +24V DC to pins 13 & 25
- Common (ground) to pins 12 & 24

電流容量を確保するために、2つのピンは、各接続に使用されます。
一般的にはアースに接続する必要があります。この方法で配線されたパワーサプライの側面パネルの "電源"スイッチはバイパスされます。 （図5.3(Figure 5.3)を参照してください）

上記の方法で供給される電力は、システムの電源をすべてのコンポーネント（最大4A）に利用できる十分な電流容量を持っている必要があります。入力電源が適切に安全のために保護回路（ヒューズ等）で保護する必要があります。

6.操　作

NOTE - 電源を投入する前に､そのユニットが適切に接地されスタティックバーとプローブが正しく設置されていることを確認してください。

6.1　パワーサプライ・インディケーター

Power：点灯（緑）は、電源投入を示します。PerforMAX IQ HLパワーサプライは、動作する準備ができています

Bar On：スタティックバーがアクティブの場合点灯（緑)。

Fault：スタティックバー、パワーサプライ、高電圧配線に障害がある場合は点灯（赤色)。電源をオフにして問題を解決する必要があります｡問題点が解決し、リスタートすると赤点灯が消灯します。

Clean Bar：点灯（黄色）は、スタティックバーをクリーニングする必要があります。クリーンバー表示は、イオン出力低下（放電電極の清掃）もしくは、出力電流が多い（スタティックバーの側面等の絶縁抵抗低下）場合です。

Mode(モード)：スタティクバータイプの表示横にあるインジケータが点灯(緑色)が点灯します。"Speed"または"Hybrid"が表示されます。2種類の異なるバーがつながれる場合、システムは2つの作動電圧でより安全なほうに、対応するModeのインジケーターが点灯します。

モードインジケータは、(クリーンバーインジケータと一緒に）電源の起動時には電源の数を示します。

Output：出力表示は、10ステップで、「ロー」から「ハイ」に表示します。(2個の赤、3個の黄色、5個の緑)、そして、システム相対的なイオン出力を表示しています。出力は、通常ハイの範囲にあります。 ロー出力は、スタティックバーがクリーニングを必要とすることを表示します。

6.2 パワーサプライの動作

Initial Calibration ：(初期キャリブレーション)フロントラベル上の[Initial Calibration]ラベルにあるモーメンタリスイッチです。[Initial Calibration]のラベルをしっかり押すと、キャリブレーション･シーケンスを開始し、システムの相対的なイオンの出力を設定します。

初期キャリブレーションボタンは、パワーサプライの番号を変更するために使用されます。この番号は、複数のパワーサプライが含まれており、オプションの通信モジュールを含むシステムにパワーサプライを識別するためのソフトウェアとして使用されています。

システム･スタートアップ：

A. AC/DCアダプターに電源電圧を供給します。

B. パワーサプライの電源スイッチを（I）にします。

C. パワーサプライは、セルフテストの間すべてのインディケーターが点灯します。

D. セルフテストの後、パワーサプライ番号（デフォルト：01）が表示されます。

E. パワーサプライの数が表示された後、システムのステータスを表示するためにセットされます。

新しいシステムでの出力インジケータは最初に低出力を表示します。通常、最初のキャリブレーションを実行する必要があります。

NOTE - 初期キャリブレーションは、システムが最初にインストールされたときに実行してください。また、スタティックバーをクリーニングし、システムが正常に動作が確認された後に実行してください。

F. システムを新規に設置した場合は、初期キャリブレーションを実行します。初期キャリブレーションは、システムの相対的なイオンの出力を設定します。初期キャリブレーションは、新規にシステムを設置した場合か、メンテナンスでクリーニングした場合にPerforMAX IQ HLシステム上で実行する必要があります

初期キャリブレーション時に除電するターゲット（ウェブ、フィルム、等）は、装置上に残っているかもしれませんが、動いている状態で行ってはいけません。ウェブはスタティックバー（例えば、マシンが動作中である）を越えて移動している場合、最初のキャリブレーションに失敗する可能性があります。

パワーサプライのラベルに表記された[Initial Calibration]スイッチを押します。これは、キャリブレーション･シーケンスを開始し、システムの相対的なイオンの出力を設定します。

最初のキャリブレーションの間、システム出力は循環して出力します。インジケーターは、数回およびその範囲を順次表示します。 これが、二回繰り返されます。そして、インジケーターは、システムの状態を表示し停止します。初期のイオン出力は高く設定されます。初期キャリブレーションの最初の較正シーケンスは、１分未満で終了します。

初期キャリブレーション･データは非揮発性メモリーに格納され、今後の始動時に参照して使用されます。

6.3 パワーサプライ番号（アドレス）

パワーサプライ番号を変更する場合､複数のパワーサプライが接続された通信モジュールが必要なだけです｡通信モジュールに接続された複数のパワーサプライは､同じアドレス番号を持つことはできません。

A. すべてのインジケーターが点灯するセルフテストの直後、パワーサプライ番号（デフォルト： 01）短く示されます。パワーサプライ番号は、以下のテーブルに従ってLEDを点灯します。

Power Supply Number Table

Power Supply Number	Clean Bar LED	Distance Mode LED	Hybrid Mode LED	Speed Mode LED
00	0	0	0	0
01	0	0	0	1
02	0	0	1	0
03	0	0	1	1
04	0	1	0	0
05	0	1	0	1
06	0	1	1	0
07	0	1	1	1
08	1	0	0	0
09	1	0	0	1
10	1	0	1	0
11	1	0	1	1

LED off = 0. LED on = 1.

B. 初期キャリブレーション･ボタンがセルフテストの直後に押されると、パワーサプライ番号は1つ増します。初期キャリブレーション･ボタンを繰り返し押すと、パワーサプライ番号を増加させ続けます。番号は、｢循環｣します。（ … 09、10、11、00、01、02 … ）。パワーサプライ番号を増加させると、出力表示LEDを発光させることによって示されます。出力表示LEDが点滅を停止し、配列の表示を開始したら、パワーサプライ番号を変更することはできません。この時点で初期キャリブレーションボタンを押さないでください。出力表示LEDは、シーケンスを停止後、初期キャリブレーションボタンを押すと、キャリブレーション機能を再開します。

パワーサプライ番号を調節することは、一般的に、複数のパワーサプライと通信モジュールでシステムのセットアップの間、実行される設定

7.メンテナンス

NOTE - 認定されたサービス担当者が保守作業を行ってください。

CAUTION - 感電の危険
スタティックバーをクリーニングするか、システムの任意のメンテナンスを実行する前に、電源をオフにしてください。

放電電極とスタティックバーの表面の汚染の蓄積は、バーの除電能力を低下させます。そのため、ディスプレイ･モジュールのクリーンバーインジケータが**点灯または、3週間毎に（いずれか早いほう）システムのメンテナンスを実行することが推奨されます。**

スタティックバーのクリーニング

ナイロンのきれいなブラシは、スタティックバー放電電極を清潔に保つために使用する必要があります。ブラシの定期的な使用が放電電極に塵埃の蓄積を防ぐことができます。放電電極は、最適なパフォーマンスを維持するためにシャープなままでなければなりません。

NOTE - その他の硬い材質や鋭利な器具を使用して放電電極をこすると、放電電極先端を破損する場合があります。

A. パワーサプライの電源をオフにします。

B. 乾燥した毛足の硬いナイロンブラシでスタティックバーに付着した塵埃を除去します。

C. クリーン・ドライエアーでスタティックバーをブローします。

D. イソプロピルアルコールを清潔な布に付けてスタティックバーに付着した塵埃のコーティングを削除します。硬いナイロン毛ブラシにイソプロピルアルコールを付けて、バーの放電電極を擦ります。

E. クリーン・ドライエアーでスタティックバーをブローします。電源を再投入する前にバーが、乾燥していることを確認してください。

NOTE - アルコール等の洗浄液にスタティックバーまたは部品を浸漬しないでください。また、ラッカーシンナー、ナフサやアセトンなどの溶剤は使用しないでください。

8.トラブルシューティング

問題	原因	解決手段
パワーインジケーターが点灯しない。	パワーサプライの電源が、オンにされていない	パワーサプライの電源をオンにしてください
	電源の配線が正常につながれていない	電源の接続を確認ください。（24VDCとAC100Vの両方）
	AC/DCアダプターの故障	AC/DCアダプターを交換してください
クリーン･バーLED点灯	スタティックバーの電極の汚れ	電極の清掃
	電極やバー側面の絶縁抵抗低下	電極やバーの清掃。詳しくはメンテナンスの項目参照
バーオン表示が、点灯しない	スタティックバーが接続されていない	スタティックバーとパワーサプライを接続してください
	スタティックバーの高電圧コネクターが接続されていない	パワーサプライをオフにして高電圧コネクターを再接続してください
	スタティックバーの高電圧コネクタの識別ピンが欠落している	スタティックバーの高電圧コネクタプラグを交換ください
フォルトLED点灯	スタティックバーが接地金属に近すぎる	接地金属をスタティックバーから離す
	高電圧コネクタの破損	高電圧コネクタの交換
	高電圧ケーブルの破損	スタティックバーの交換
	パワーサプライ内部の異常	パワーサプライの交換

9.リプレースメント パーツ

PerforMAX IQ HL Power Supply:	Part Number
（ACアダプターなし）	4012508
（ACアダプター付、100/120VAC　日本/北米電源コード）	4012509
（ACアダプター付、230VAC　北米電源コード）	4012510
ACアダプター (100-240VAC 入力)	4108774
ACコード、100/120VAC 日本/北米	4520778
ACコード、230VAC 北米	4520779
モジュラーケーブル（8芯、ストレート、RJ-45）	
PerforMAX IQ HL パワーサプライ用：	
（0.91m[3feet]，白）	4520788
（2.13m[7feet]，白）	4520789
（4.27m[14feet]，白）	4520791
（7.62m[25feet]，白）	4520792

輸入販売元

静電気のスペシャリスト

シムコジャパン株式会社

本　　社　神戸市中央区港島中町１－２－４
〒650-0046　TEL.078-303-4651 FAX.078-303-4655

神戸営業所　神戸市中央区港島中町１－２－４
〒650-0046　TEL.078-303-4651 FAX.078-303-4655
東京営業所　東京都墨田区両国１－３－８ 西川ビル
〒130-0026　TEL.03-3635-7261 FAX.03-3635-7189
仙台営業所　仙台市若林区六丁の目中町１８－１５
〒984-0012　斎喜六丁の目ビル
TEL.022-390-1722 FAX.022-390-1723

ホームページ : http://www.simcoion.jp/
お問い合わせ : info@simcoion.jp